

## 学校経営推進費 評価報告書（2年め）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立長尾高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な探究の時間」に係る生徒の満足度向上</li> <li>・学校教育自己診断における該当項目の肯定率の向上</li> </ul>
計画名	長尾みらいプロジェクト —地域と結ぶ〈対話/思考/表現〉活動とキャリア形成に向けた探究的な学び—

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の中期的目標	<p>1. 新学習指導要領の確実な実施—「確かな学力」の育成と授業改善—            (2) 生徒の進路実現の支援            ア. 生徒の希望する進路の実現に向け、丁寧なガイダンスや面談を実施し、必要な補習・講習・面接練習を行い、多様な入試に対応できるよう支援する。            イ. 3年間を見通した系統的な進路指導を計画・実施する。</p> <p>3. 専門人材の活用や、地域・大学・企業等との連携の充実            (1) 大学、近隣の教育機関、企業、福祉施設、自治体、地域自治組織との連携を深め、地域のファシリテーターとしての素養を身につける。            ア. 大学等と地域の教育機関との連携を拡充する。            イ. 地域の安全や防災について、地域自治組織等と連携して取り組む。            ヲ. あらゆる機会をとらえて、地域と連携した教育活動を行う。</p>
事業目標	総合的な探究の時間『未来創造』において、1年次は「表現力を身につける」、2年次は「社会とつながる」、3年次は「将来を切り開く」というコンセプトのもとアクティブラーニングの手法を用いた探究活動を行い、人と人との繋がりを大切にするとともに、ファシリテーターとして地域社会から愛され、協働して、粘り強く社会で生き抜くことのできる人物を育成する。また、その成果を成果発表会等において広く発信する。これらを通じて、活字からの学習という新しいツールの獲得や自発的な読書習慣を身につけさせることで、さらなる自己実現支援を行う。夢や目標を持った生徒を育成し、未来を切り開く力の支援を行う。また、本を図書室から持ち出して生徒が利用しやすい場所に持っていくことと、教科との連携を強化することで生徒の図書室への人流をつくり、全国平均（35%）より10%も高い大阪の不読率（45%）の改善、生徒の学力向上、第1希望進路達成率の向上及び地域連携にも寄与していきたい。
整備した設備・物品	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒会室及び会議室をアクティブラーニングルームとして整備 (可動式机及びイス、ホワイトボード、スピーカーなど)</li> <li>○ 報償費（地域企業による特別講義や地域課題検討会議出席者の招へい）</li> <li>○ 使用料（成果発表会会場料）</li> <li>○ 発表会用ポスター</li> </ul>
取組みの主担・実施者	主担：広報・地域連携チーム担当者・総合的な探究の時間担当者・生徒会担当・学年担当者 で編成した「課題研究プロジェクトチーム」 実施者：全教職員

本年度の取組内容	課題研究プロジェクト「社会とつながる」 第2学年全員を対象とし、小グループ編成で地域の課題を研究し、その解決方法を検討・提案する取組みを行う。枚方市政策推進課に講師を依頼し、枚方市の現状に関する特別講義を行い、地域の企業、福祉施設の関係者に参加してもらって生徒主導の「地域課題検討会議」を開催。地域のニーズや困りごとを生徒たちが直接聞き取ることのできる機会を設けて課題に向き合う。
成果の検証方法と評価指標	○「総合的な探究の時間」アンケートにおける肯定率を 75%にする。 ○学校教育自己診断（教員）における「生徒が望ましい勤労観・職業観を持つよう系統的なキャリア教育を行っている」の肯定率を 70%にする。 ○学校教育自己診断（生徒）における「授業や部活動、学校行事などを通して、地域の人々や他の学校と交流する機会がある」の肯定率を 85%にする。
自己評価	○「総合的な探究の時間」アンケートにおける肯定率は 82.2%…………… (◎) ○学校教育自己診断（教員）における「生徒が望ましい勤労観・職業観を持つよう系統的なキャリア教育を行っている」の肯定率は 67.7%…………… (◎) 前年比で 6.2 ポイント上回ったが、取組みのさらなる定着により向上をめざす。 ○学校教育自己診断（生徒）における「授業や部活動、学校行事などを通して、地域の人々や他の学校と交流する機会がある」の肯定率は 76.6%…………… (△) 前年比で 0.1 ポイント増 取組みの定着と内容の更新に取り組み、向上をめざす。
次年度に向けて	○テーマ②の充実を図るとともに、テーマ③として第3学年で「起業」をテーマにしたプロジェクトをつくるカリキュラムをデザインする。 ○3年計画の課題研究として、使っていない校地を畠にし、耕作物を植え、収穫したものをお業などからアドバイザーを招いて助言を受け、「企業ミッション」を立てたり、商品を考える取り組みを行う。最後に3年間の探究活動の総括をし、自己の進路について考えを深める。

### 3. 事業費報告

今年度事業費総額	<b>126,490</b>	円
----------	----------------	---

#### 積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
	3 消耗需用費	1	発表会用ポスター	¥8,590	1	¥8,590
		2				
		3				
						小計 8590
7 使用料及び賃借料	7 使用料及び賃借料	1	枚方市総合芸術文化センター小ホール使用料（2年め）	¥117,900	1	¥117,900
		2				
		3				
						小計 117900
						合計 ¥126,490